千百二十九人に達せり。

されば、宮中にても其の誠意を酌ませられ、毎回宮城及び新宿御苑の拜觀を許可せられ、陸軍省は後樂園の參觀を許し、又、神宮附近の千駄ヶ谷町に於ては、食品の購入、入浴費の割引等に就いて種々盡力し、繪葉書を寄贈し、時事新報社の如きは、毎度招待して茶菓を饗し、乃木講に於ては、毎回講師を派遣して、講話をなし、其他團員中疾病に罹れるものある時は、赤十字社、濟生會、東京市衞生課等は入院其他便宜を計る等、各方面より多大の好意を表するに至れり。

斯くて、床次副總裁は、其の勞を慰めんが爲め、塚本造營局長及び一條宮司をして、造營奉仕青年團百十團體五千六百人中より一團中尤も優良なる成績を擧げしもの一人を選定して、神宮に參拜せしむるの計畫を立て、同十年二月、各府縣知事に向ひ其選定方を依賴せり。府知事の推擧により上京せるもの百十名、何れも皇典講究所振武館に投宿し、四月三日、午前七時半宿舍を發して先づ二重橋前にて宮城を遙拜、十時神宮に參拜し、總代吉川親雄玉串を奏奠し、神符、神酒、供物の頒賜を受け、十二時、副總裁の訓示及び造營局長、宮司(權宮司代理)の挨拶あり、午後一時、舊御殿御庭に於て神酒を拜戴せり。かくて四日午前八時、宮城を拜觀し、十一時伏見宮邸に至りて、造營局總裁貞愛親王殿下に拜謁し、懇篤なる令旨を賜はり、五日解散して各々歸途に就けり。

之を要するに、造營工事に對する青年團の奉仕は、財界の趨勢に伴ふ勞力の拂底を緩和するの目的を以て計畫せられしものなるが、青年奉公の至誠により能く當初の目的を達成せしのみならず、全國各府縣より逐次上京して、規律ある團體的生活を營み、至誠勞働に從ひしを以て、青年團の團體的訓練の發達に貢獻し、又敬神崇祖の精神を作興して、國民道德の涵養に資せし所も亦尠からざるが如し。

青年團體府縣別一覽

府縣名	團體名	團體數	總人員數
北海道	空知、上川、宗谷支廳管內聯合	三	一七三
東京	西多摩、南多摩	二	一四〇
京都	何鹿、天田、加佐、船井	四	二四一

大阪	大阪市、堺市、北河内、	三	一七五	
神奈川	津久井	一	五五	
兵庫	美方、三原、氷上、武庫、朝來、宍粟、川邊、	七	四三〇	
長崎	東彼杵、南松浦、北松浦、北高來、北高來、	五	二八三	
新潟	東頸城、南蒲原、佐渡	三	一六二	
埼玉	兒玉、聯合	二	一一九	
群馬	利根、新田、七郡聯合	三	一五〇	
千葉	長生、海上、匝瑳、君津、夷隅	五	三〇七	
茨城	聯合、聯合、聯合、聯合	四	二三〇	
栃木	河内、芳賀、那須	三	二〇三	
奈良	生駒、聯合	二	一一二	
三重	安濃、三重	二	一二九	
愛知	渥美、額田、中島、碧海、岡崎市、東春日井、海部、寶飯	八	四五九	
靜岡	安倍、有度、安倍、磐田、駿東、駿東、安倍、榛原、富士、田方、	一八	二一二〇	
山梨	富士、志太、濱名、磐田、小笠、駿東、周智、庵原、引佐	四	二四七	
滋賀	北巨摩、中巨摩、山梨、西山梨	二	一二〇	
岐阜	蒲生、野洲	一	五九二	
長野	大垣市、海津、惠那、武儀、山縣、稻葉、揖斐、加茂、可兒、安八	一〇	六〇	
宮城	南佐久	一	七七四	
福島	本吉、牡鹿、亘理、加美、宮城、名取、桃生	一三	五六	
岩手	伊具、登米、柴田、仙臺市、玉造、栗原	一	六〇	
	福島市	一	一	
	江刺	一	一	

青森	上北	一	六〇	
山形	南置賜、西村山、東置賜、東村山、	四	二三六	
秋田	仙北、南秋田、由利、平鹿、北秋田、雄勝、河邊、鹿角、	八	四八四	
福井	聯合、足羽	二	一二六	
石山	能美、河北、珠洲、羽咋、金澤市、江沼	六	三三三	
宮山	聯合	一	六〇	
鳥取	聯合、聯合、聯合	三	一八〇	
島根	聯合、聯合	二	一二四	
岡山	都窪、邑久、久米、赤磐、小田、後月、英田、苫田、阿哲、淺口	一〇	五九六	
廣島	世羅、沼隈、高田、御調、安藝、賀茂、豐田、豊品	八	四五九	
山口	吉敷、聯合、厚狹、豐浦、熊毛、佐波、都濃、美禰	八	四七二	
和歌山	那賀、海草、西牟婁、伊都、有田	五	一七九	
徳島	聯合、聯合	二	一二〇	
香川	聯合、聯合、聯合	三	一八〇	
愛媛	伊豫、溫泉、新居、越智、	四	二三一	
高知	香美	一	六〇	
福岡	嘉穗、築上	二	一二六	
大分	宇佐、日田、速見、東國東、大分、西國東、南海郡、	七	四一四	
佐賀	聯合、	一	六〇	
熊本	聯合	一	六〇	
宮崎	聯合	一	六〇	

鹿兒島	聯合						
沖繩	國頭						
計				一	六〇		
				一	五二		
				一八九	一一、一二九		

青年團體造營奉仕一覽

從事期間	團體名	人員	團長 資格	團長 氏名
自大正八年一〇月一五日 至大正八、一〇、二六	靜岡 安倍（有度村）	五〇	步兵少尉	栗田督造
同 一一、一〇、二七	同 安倍	五〇	同	井上通三
同 一一、一二、一一	同 磐田	七〇	袋井町小學校長	船越勇三郎
同 一一、一二、一一	同 磐田	三〇	郡視學	高井潤一郎
同 一一、一二、一一	群馬 利根	七〇	步兵少尉	鎌野源一
同 一一、一二、二四	靜岡 駿東	七〇	實業學校長	友添佐一
自大正九、一、一 至大正九、一、一四	同 同	七〇	小學校長	大內桝治
同 一、一、二六	東京 西多摩	六〇	縣視學	宮田幸次郎
同 一、一、二三	富山縣聯合	六〇	郡視學	原田鋪太郎
同 一、一、二七	群馬 新田	七〇	小學校長	池田壽太郎
同 二、一、一八	同 榛原	七〇	同	渡邊福太郎
同 二、一、二七	同	六〇	郡長	加藤輝夫
同 二、二、二四	靜岡 安倍	六〇	青年團幹事	影山滋樹
自大正九、二、一五 至大正九、二、二四	靜岡 安倍	七〇	農	伊藤次郎
同 三、一、一七	東京 南多摩	六〇	元縣會議員	大沼吉平
同 三、一、二九	靜岡 富士	六〇	郡長	長谷川徹爾
同 三、一、二一	靜岡 田方	六〇	青年會幹事	清儀作
同 三、二、二八	廣島 世羅	六〇	砲兵大尉	笹野德次郎
同 三、二、二二	同 志太	六〇	四和村小學校長	深堀善次郎
同 三、二、二三	靜岡 富士	六〇	小學校長	松本李次
同 三、二、二四	青森 上北	五〇	小學校長	中村精三
同 三、三、三〇	靜岡 濱名	六〇	青年會幹事	佐藤六平
同 四、一、一二	同 磐田	六〇	郡視學	門平文作
同 四、二、二一	新潟 東頸城松之山	六〇	農業學校教諭	長坂泰助
同 四、二、二三	埼玉 兒玉			
同 四、二、一九	靜岡 小笠			

自大正九、四、一三至大正九、四、二二	群馬	七郡聯合	
同	廣島	沼隈	四、二一、三〇
同	同	同	四、二五、五〇
同	千葉	海上	五、二四、三
同	靜岡	駿東	五、一五、一四
同	栃木	河内	五、一一、一二
同	香川	縣聯合	五、一一、二二
同	石川	石川	五、一一、二三
同	靜岡	周智	五、一一、二六
同	千葉	匝瑳	五、二、二四
同	長崎	東彼杵	五、二、二六
同	秋田	仙北	五、二、二七
同	愛媛	伊豫	六、一、一七
同	宮城	本吉	六、一、一八
同	秋田	南秋田	六、一、二一

六〇	縣青年指導員	吉永貫一	
六〇	小學校長	高山秀雄	
五五	郡視學	藤井哲夫	
六〇	郡長	中村淑人	
七〇	沼津小學校長	中村善作	
六〇	郡視學	佐取明吾	
六〇	縣青年團主事視學	近藤尙美	
五〇	郡地方主事	稲田喜作	
六〇	小學校長	增田猪平	
六〇	郡長	石本堅	
六〇	小學校長	高月信吉	
六〇	郡視學	小松周藏	
六〇	小學校長	山本綠之助	
六〇	青年團理事	古川榮太郎	
六〇	郡視學	千葉源之助	

自大正九、六、二〇至大正九、六、二九	島根	縣聯合	
同	山口	吉敷	
同	大分	宇佐	
同	鳥取	縣聯合	七、一一、一〇
同	山梨	北巨摩	
同	京都	何鹿	
同	岐阜	大垣市	七、一二、二一
同	福井	縣聯合	
同	愛知	渥美	七、二三、八
同	岡山	都窪	
同	茨城	縣聯合	
同	宮城	牡鹿	
同	山梨	中巨摩	八、三、二
同	宮城	宜理	
同	京都	天田	

六〇	縣視學	田田爲一	
六〇	縣視學	眞野庄太郎	
六〇	郡視學	長坂勘三郎	
六〇	小學校長	青野浩	
六〇	醫	師森恭造	
六〇	社會教育主事	高村肇	
六〇	郡長	武南新一郎	
六〇	軍醫	伴壽一	
六〇	縣視學	柴沼與太郎	
六〇	小學校長	岡崎紀一	
六四	池田村長	小宮山清三	
六〇	郡視學	狩野信作	
六〇	小學校長	本庄彝	

自大正九、八、一四至大正九、八、二三	岐阜	海津	六〇
同	奈良	生駒	六〇
同	宮城	加美	六〇
同	滋賀	蒲生	六〇
同	石川	能美	六〇
同	愛知	額田	六〇
同	滋賀	野洲	六〇
同	岐阜	惠那	六〇
同	和歌山	那賀	六〇
同	福島	福島市	五六
同	北海道	空知	六〇
同	沖縄	國頭	六〇
同	山口	縣聯合	六〇
同	靜岡	庵原	六〇
同	山形	南置賜	六〇

寺倉龍次	小學校長	郡視學	六〇
今井長松	小松謙治	郡青年監	六〇
塚本義雄	青年團指導員	郡視學	六〇
東幸作	郡長	井上英良	六〇
伴東	郡書記	三毛秋次郎	六〇
牧野熊藏	特務曹長	市助役	五六
廣田竹藏	屬	伊藤猛	六〇
宮城眞治	小學校長	內務、文部省囑託	五二
小尾晴敏	內務、文部省囑託	青年團長	六〇
原榮作	郡青年團長	相田宮之助	六〇

自大正九、一〇、二七至大正九、一一、二四	秋田	由利	六〇
同	長野	南佐久	六〇
同	岐阜	武儀	六〇
同	大分	日田	六〇
同	鹿兒島	縣聯合	六〇
同	高知	香美	六〇
同	兵庫	美方	六〇
同	長崎	南松浦	六〇
同	廣島	御調	六〇
同	愛知	中島	六〇
同	大阪	大阪市	六〇
同	熊本	縣聯合	六〇
同	德島	縣聯合	六〇
同	佐賀	縣聯合	六〇
同	福岡	嘉穗	六〇

郡視學	糸井茂雄		六〇
郡長	藤根新太郎		六〇
郡視學	有賀好風		六〇
青年副會長	江口清		六〇
縣屬	石神政雄		六〇
郡書記	北村一正		六〇
郡視學	絹卷彥藏		六〇
	立本裕		六〇
郡視學	梶本八百治		六〇
同	淺野嘉九郎		六〇
理事	中川伊作		六三
社會教育主任	永野紺郷		六〇
縣屬	坂崎小傳次		六〇
視學	大山利八		六〇
同	石井敎助		六〇

自大正九、一一、一四至大正一一、一一、一三	宮崎縣聯合	六〇	縣屬	小山一文雄
自大正一〇、一一、一一至大正一一、一一、一〇	三重安濃	六〇	郡長	尾崎重美
同	岩手江刺	六〇	團長	菊地龜覺
同	岡山邑久	六〇		石原猛男
同	兵庫三原	六〇	視學	稻垣伊作
同	神奈川津久井	五五	郡視學	島三夫
同	長崎北松浦世知原村	五〇	小學校長	林傳太郎
同	宮城宮城	六〇	副團長	萱場柔壽郎
同	岐阜山縣	六〇	郡視學	奥村兵十郎
同	和歌山海草	六〇	郡書記	貴志鐵三
同	大分速見	六〇		長野隆義
同	山口厚狹	六〇	郡視學	弘中傳人
同	愛媛溫泉	六〇		宮內嘉綱
同	秋田平鹿	六〇	郡視學	木內喜七
同	北海道上川郡鷹栖村	五三	村長	田中茂留

自大正一〇、二、二八至大正一〇、三、二九	德島縣聯合	六〇	縣屬	高井列
同	新潟南蒲原	六〇		宗坂順次郎
同	香川縣聯合	六〇	縣視學	長尾利八
同	奈良宇智南葛城宇陀（聯合）	五二	郡吏	十楚元治郎
同	大阪堺市	五一	綿布商	泉谷次郎
同	京都加佐	五七	郡書記	蟹峨根達雄
同	長崎北高來湯江村	五四	團長	松角久三郎
同	千葉君津	七〇	郡視學	川名貞次郎
同	茨城縣聯合	五〇	同	堀健吾
同	石川河北	六〇	社會主事	村田伊雄
同	大分東國東	六〇	小學校長	德丸嘉藤二
同	宮城名取	六〇	同	高橋玄治
同	岡山久米	五五	郡視學	守安郁二
同	山口豐浦	六〇	同	林太三郎
同	岐阜稻葉	六〇	地方改良主事	若原彥造

自大正一〇、五、二一	愛知	碧海	五九 郡書記 角岡孝太郎
同 五、二一	兵庫	氷上	六〇 小學校長 阿刀友雄
同 五、二二	和歌山	西牟婁	五〇 同 田中藤助
同 五、二七	香川	縣聯合	六〇 社會教育主事 福家惣衞
同 六、二五	千葉	夷隅	五七 郡視學 板倉忠藏
同 六、一〇	茨城	縣聯合	六〇 同 大越隆一
同 六、一五	山形	西村山	五九 同 菅野一治
同 六、二一	福井	足羽	六六 社會教育主事 志田彌
同 六、二五	鳥取	縣聯合	六〇 縣視學 三橋豐藏
同 六、二六	廣島	安藝	五四 郡書記 吉野悅次郎
同 七、一〇	愛媛	新居	五八 郡視學 赤星彌一郎
同 七、一五	兵庫	武庫	六〇 松井四郎
同 七、二一	山梨	東山梨	六二 小學校訓導 風間美保
同 七、二五	三重	三重	六九 郡視學 藤田平太
同 七、三〇	石川	珠洲	五五 地方改良主事 宮下儀一

自大正一〇、八、二六	新潟	佐渡	五二 小學校長 濱田忠吉
同 七、三一	愛知	岡崎市	五五 市會議員 本多憲
同 八、一四	岡山	赤磐	五九 郡視學 片岡庫太郎
同 八、一〇	大分	大分	六一 郡書記 本戸佐一
同 八、一五	秋田	北秋田	六〇 郡視學 淵名重記
同 八、二九	岐阜	揖斐	六〇 同 石黑禎一
同 八、二五	兵庫	朝來	六〇 同 深井三二
同 八、三〇	山口	熊毛	六〇 同 木村信作
同 九、八	埼玉	縣聯合	五九 縣屬 秋元富三
同 九、一三	北海道宗谷支廳管內聯合		六〇 道廳屬 太田誠八郎
同 九、一八	福岡	築上	六六 郡視學 河原熊雄
同 九、二四	栃木	芳賀	七三 郡書記 板橋俊友
同 九、二八	宮城	桃生	六〇 小學校長 千葉貞
同 一〇、二三	和歌山	伊都	五三 郡書記 平井竹次郎
同 一〇、二四	山形	東置賜	六〇 訓導 桐生虎雄

自大正一〇、一〇、一八	茨城	縣青年會第四部	
同一一、一〇、二三	廣島	賀茂	郡視學	杉田祐四郎	六〇
同一一、一〇、二四	廣島	賀茂	同	大橋好男	六〇
同一一、一〇、二八	秋田	雄勝	郡書記	近藤忠治郎	六〇
同一一、一〇、二九	島根	縣聯合	縣囑託	並河亮次	六四
同一一、一〇、二九	石川	羽咋	郡書記	河崎四郎	五八
同一一、一一、一三	岡山	小田	郡視學	鹽見東八	五九
同一一、一一、一七	愛知	東春日井	同	中島百次	四八
同一一、一一、二三	大分	西國東	郡書記	丸山五郎	五六
同一一、一一、二七	山梨	西山梨	郡視學	石原茂作	六一
同一一、一一、二八	兵庫	宍粟	郡書記	後藤市藏	六〇
同一二、一一、二八	長崎	北高來	村長	田口八十治	五九
同一二、一二、一	宮城	伊具	小學校長	我妻長五郎	六〇
同一二、一二、一七	靜岡	引佐	郡視學	石川繁治	六〇
同一二、一二、一八	京都	船井	小學校長	的場正三	六四
同一二、一二、二三	大阪	北河內	郡視學	川崎幹治郎	六一

自大正一一、一一、二四	愛知	海部	郡社會教育主事	吉本一松	六二
同一一、一一、二五	岡山	後月	郡書記	田邊喜志太	六二
同一一、二二、一三	和歌山	有田	郡社會教育主事	菅谷美輝夫	五六
同一二、一一、二四	鳥取	縣聯合	縣社會教育主事	內尾政玄	六〇
同一二、二二、二四	岐阜	加茂	郡	遠藤新八	六二
同一三、一三、十五	宮城	登米	郡視學	杉浦一男	六二
同一三、三、十六	秋田	河邊		佐藤兼治	六二
同一三、三、二五	山形	東村山	青年會顧問	今野雄太郎	六〇
同一四、四、一五	宮城	柴田	郡青年指導吏員	佐藤英雄	六〇
同一四、四、二五	岡山	英田	郡視學	森郁四郎	五八
同一四、四、二五	廣島	豐田	郡書記	寺尾春一	五一
同一四、五、一五	山口	佐波	同	佐內令作	六一
同一五、五、二五	岐阜	可兒	郡視學	渡邊來藏	五八
同一六、五、二三	宮城	仙臺市	青年團教監	裏辻斧磨	五九
同一六、六、一三	石川	金澤市	郡社會係長	田中豐嗣	五九

自大正一一、六、一四至大正一一、六、二三	大分	南海部	六三	郡書記	高野郡助
同 七、一四	岡山	苫田	六一	郡視學	大守勇
同 七、一四	岡山	阿哲	六一	社會教育主事	秋山照禪
同 七、一四	山口	都濃	六一	郡視學	弘中傳人
同 八、一四	岐阜	安八	五二	同	伊藤銑次
同 八、一三	宮城	玉造	五二	郡社會教育主事	薄井峻逸
同 八、一三	愛媛	越智	五三	郡視學	菅正一
同 九、一二	秋田	鹿角	六二	地方改良囑託	太田武治郎
同 九、一二	廣島	蘆品	五九	郡視學	佐竹勇市
同 一〇、一二	兵庫	川邊	七〇	同	西山作右衛門
同 一〇、一二	山口	美禰	五〇	同	石川貞右衛門
同 一〇、一二	岡山	淺口	五九	同	村上實
同 一〇、一二	岡山	淺口	六一	小學校長	加藤大三郎
同 一一、一一	宮城	栗原	七〇	郡視學	福富準四郎
同 一一、一一	栃木	那須	五五	同	間瀬勘作
同 一一、一一	愛知	寶飯			
同 一一、一一					
同 一一、一一					
同 一一、一一	

昭和五年三月二十日印刷
昭和五年三月二十五日發行

內務省神社局

東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地
印刷者　杉山退助
東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地
印刷所　株式會社秀英舍

ナエ4W-41